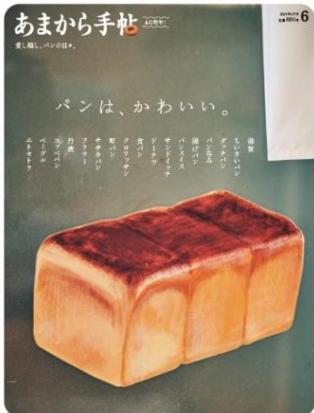


あまから手帖2025年6月号 「パンは、かわいい。」 を

5月23日に発売致しました

2025年5月



Daigasグループのクリエテ関西が、あまから手帖2025年6月号「パンは、かわいい。」を5月23日、発売いたしました。

丸くて、やわらかくて、華やか。角ばってて、かたくて、素朴。見た目もかわいくて、存在がいとおしい「パン」。今特集では熱い作り手たちの集う「滋賀」のパン店を筆頭に、地元の日常に寄り添う町のパン店の物語、界隈を賑わすパンブーム、ローカルパン秘話など、いろいろなパンの耳より情報を詰め合わせ。また料理家・高山なおみさんのエッセイ「バターロールの思い出」、イラストレーター・マメイケダさんの「パン日記」など、食べ手と作り手、両方のパン愛を込めて、お届けします。

ページをめくるたびに「パンってかわいい」と感じられる特集です。

<特集構成>

- 忘れないパンのこと バターロールの思い出
- ちいさいも、はさむも、いつでも、かわいいパン
- 湖の町の日々の糧 滋賀ヘパンを買いにいく。
- 神戸のパンのこと パン日記
- パンの耳寄り話つめ合わせ パン NEWS
- すぐそばにある、あのお店のはなし。町のパン屋物語。
- パンとお菓子の中間地点 ドーナツ Kawaii
- 懐かしくて、新しくて、懐こくて 大正 10 年創業。
京都で現役のパン屋さんでは、4 番目に古い「ササキパン」。今日も元気に営業中です。
- フワラーとアベック、どっちが好きなん? 加古川とニシカワパン。
- 循環の中のものづくり パンと、生きる。

<連載>

- 作家・町田 康の「食にかまけず」
- 写真家・長野陽一の「あま、から」
- 料理研究家・冷水希三子の「からから料理帖」
- マスター・ソムリエ・岡 昌治の「日本ワイン、ようわからん」
- フードコラムニスト・門上武司の「関西『揚げもん』研究所」
- ミルクボーイ・駒場 孝の「こまから手帖」

ほか

<媒体概要>

「あまから手帖」は関西の食文化・情報を伝える雑誌として30代後半~50代の方を中心にお好評いただいております。

誌名：あまから手帖 発売日：毎月23日 発行部数：10万部

販売方法：書店・駅売店・コンビニエンスストア（一部）

販売地域：関西全域および全国の主要都市（一部） 價格：880円（予価）

※本誌に関するお問合せは下記までお願いできましたら幸いです。

※各種取材、メディア出演にもご対応致します。